

# ほたるっ子



磐梯第一小学校  
学校だより  
NO. 13  
R5. 4. 26  
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

## 整然! 運動会全体練習

先週金曜日に校庭で行った練習の様子です。全体が整然として、良い姿勢でしっかり話を聞くことができ、とても立派な態度でした。



1年生の姿勢も素晴らしい!

## 特設陸上クラブ始動!

昨日から練習がスタートしました。当面の目標は、6月4日の全国小学生陸上競技交流大会会津地区予選会(あいづ陸上競技場)です。



楽に走るフォームを身に付ける

## 家庭学習 について考える《その2》

前回の続きをお話します。

### 親子で話し合って決めることに意義がある

小学校低学年では、家庭学習を20分すれば十分でしょう。それを帰宅後にするか、夕食後にするかは、その家庭の事情によって異なります。子どもと話し合って決めるといいですね。その時にお勧めしたいのが教科書の音読です。親は家事をしながらでもよいので、子どもの音読を聞いて、「上手だね」とか、「あなたがしっかり読むのでお母さんも覚えたわ」というような会話を交わします。家庭学習に楽しさをもたらすことが、子どものやる気を高める上で効果的です。

「土曜日は家庭学習はなし」というのもいいでしょう。子どもにとって、生活に変化があるのは楽しいことです。どうしても見たいテレビ番組があるために、学習時間を変更するか、日曜日終日、家族で遊びに出かけるので、その日の家庭学習はないけれど、その分を土曜日にしておくとか、「筋を通し」ながら、適切な変化があるのは望ましいことです。そのことを親子で話し合って決める、という点に大きな意義があります。家庭学習をめぐる、親子の対話の機会ができていいな、と積極的に受け止めるようにできたらいいですね。

### 子どもは心を遣わない親をいやがる



家庭学習の時間も、高学年、中学生と進むにつれて長くなるのは当然です。高学年や中学生になると、学習時間も長くなる反面、趣味などのやりたいことやスマホなどメディアとの接触も増えてきます。これらの折り合いを上手につけること自体が人生における広い意味での「学習」ではないかと思えます。家庭学習の取組で育てたい「自己マネジメント力」でもありますが、小学校1年からの家庭学習の習慣づけが、「自己マネジメント力」の基礎となります。

最近、全国的に学習塾に行かせることも盛んになりました。しかし、ここで困るのは、学習塾に、子どもの教育を、「まる投げ」にしてしまって、「親は我関せず」というような姿勢になることです。お金を出して、他人に任せることで万事解決とってしまうことです。学習塾がいけないと言っているではありません。親子で話し合い、お互いの理解のもとにやっているのならよいのです。子どもが一番いやがるのは、親がお金だけ使って、心を遣わないことだということを心に留めておきたいものです。